

江戸川区で、働きながらはじめて子育てをするために。つながろう！働く＆働きたいカーちゃん！！



江戸川で ワーキングマザーの 仲間入り

働きながら楽しく子育て！

保活講習会

参加費
無料

オンライン
開催

10月 夜・昼2回開催！
29日（金） 20:00～21:30
30日（土） 13:00～14:30

同一内容です。
どちらかご都合のよい日にご参加ください。

プログラム

- ◆ 令和4年度保育園申請について
 - ◆ 江戸川区の保育事情について
 - ◆ 園長先生とのフリートーク
- 仕事との両立、発達の心配事..など、どんなことでもお気軽にお話しください。



にっこりハウス（江戸川区認可・小規模保育所）園長
児島史篤

保育士として仕事をして20年の節目が過ぎました。乳幼児期はほとんど記憶に残りませんが、人生の基礎を作り人格形成の一番大切な時期です。保育園での生活は、子ども達にとってかけがえの無い経験となり糧となります。だからこそ、良い保育園を選ぶことや、保育園とのうまく付き合い方も大切になってきます。私自身も3人の子育て中ですので、保育園の表も裏も！？含めざっくばらんにお話しできたらと思います。

保育士
目線で

江戸川区の保育園待機児童問題
エキスパートが相談に乗ります！

保護者
目線で

“働きながら楽しく子育て！”をモットーに、「江戸川ワークママ」は99年発足以来、保育園の待機児童問題と向き合い活動を続け、私もかつて保育園待機児童で苦労したことをきっかけに始めて今年で22回を迎えます。親同士の知恵と情報で乗り越えられることがたくさんあります。天は自らを助けるものを助ける！自らを助けようとする皆さんを応援します。ぜひ、仲間を探しがてら、ご参加ください！



江戸川ワークママ代表・
東京都議会議員
上田令子

参加申し込み

QRコードより、参加申し込みフォームに入り、必要事項を記入してお申し込みください。講習会参加のためのZoomのリンクをお知らせいただいたメールアドレスにお送りいたします。

または、以下の内容を uedareiko@gmail.com までお知らせください。

- ①参加希望日 10月29日（金） 20:00～21:30
10月30日（土） 13:00～14:30
- ②お名前 ふりがなも記入してください。
- ③郵便番号、ご住所 ④メールアドレス ⑤電話番号

お問い合わせは、江戸川ワークママ代表・上田令子 TEL：090-1856-8721 Mail：uedareiko@gmail.com



東京都議会議員 **現職 3期目**
上田 令子 NEWS
2021.Oct.
自由を守る会

～ズルいことは、ゆるさない。常時改革実現中！～

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18
tel / fax 03-3878-9032 uedareiko@gmail.com



江戸川区で初めての既成政党無所属都議として**当選！**

去る7月4日に実施された東京都議会議員選挙において、皆様の温かいご支援をいただき、国政政党、労働組合、小池百合子知事のお墨付きもなく江戸川区では初めての完全無所属により、27,509票を得て3位当選を果たし、上田令子は都政の場において、三たび活動をさせていただくこととなりました。心より感謝申し上げます。

組織や知事のご威光頼みではなく、江戸川区都議選初の上田令子個人へのご期待を一身に受けたからには、3期目はこれまで以上に働かせていただく所存です。



1位	竹平 智春	43,077 票	当選	公明
2位	田之上 郁子	40,061 票	当選	都民ファースト・ 連合東京
3位	上田 令子	27,509 票	当選	無所属
4位	宇田川 聡史	24,960 票	当選	自民党
5位	原 純子	24,827 票	当選	共産党
6位	大西 洋平	24,584 票	次点	自民党
7位	よぎ	20,109 票		立憲民主党
8位	丸山 玲子	10,503 票		維新

<7/4 執行東京都議会議員選挙江戸川区選挙区開票結果>

厚生委員会理事に就任しました

この度、2017年以来4年ぶりに、上田の活動の一丁目一番地政策である保育事業・児童福祉はじめ都民の福祉・健康・命・衛生を守る福祉保健局、病院経営本部を所管する厚生委員会に所属し、理事を担います。これまで**劣悪猫カフェを廃業へ、障がい者虐待理事長を辞任に、そして手続き違反を犯した都立病院医師を退陣に追い込んだ**上田としては、コロナ対策の真ただ中の委員就任に腕が鳴ります。ぜひご期待とお声をお寄せください！

無免許/人身事故書類送検都議に対する **小池知事の責任を問う**

小池百合子知事はオリンピック開会・都議選直前に「過度の疲労」により公務から離れ検査入院するも、投票日前日に突如復帰し、**免許・無免許、当て逃げ、自動車運転過失傷害を起こし、後に書類送検された木下富美子都議ら**都民ファーストの会公認候補の応援に、喜々としてはせ参じておりました。この間も都内において、コロナ禍は深刻化し「医療非常事態」に陥っていました。開催都市の長としてオリパラ実施に拘泥し続け、

働き盛りの30代～50代が自宅療養中に亡くなるという事態に至らせしめた小池知事の責任は重大です。東京五輪及び都議選前の長期欠勤と、都民ファーストの会特別顧問として、木下氏を抜擢・登用した政治・行政責任を8月19日に開催された都議会第3回臨時会にて問うたところ、核心を突かれたのが、またしても不誠実な答弁終を繰り返したのです。



▼上田「一般職員であれば欠勤理由や期間を報告しなければなりません、6月の長期欠勤につき、なぜ知事は明らかにしないのか、知事、お答えください。」

▲小池知事は答弁拒否し、代わりに総務局長が、「知事は特別職だから、長期欠勤の報告は不要」との勤怠管理の説明をし、論点を逸らしました。

▼上田「非違行為を犯した木下富美子都議の応援、抜てきをした政治責任と説明責任につき、知事の所見を伺います。」

▽小池知事「お話の都議の事案について、でございますが、**起こした本人がしかるべき対処すべき**と、このように考えます。」



※写真:東京都議会 HP より

前代未聞！ コロナ禍のオリパラ開催

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催中の7月23日から9月5日まで、日本国内における新型コロナウイルス感染者は累計 716,588 名に上り、この間、東京都内では、自宅療養者が2.5万人を超え、基礎疾患がない人や自宅療養中に容体が急激に悪化し、亡くなるケースも相次ぎ(8月以降45名・累計90名)、1,257名の感染者が亡くなったことは、両競技大会の中止・延期を重ねて強く求めてきた地域政党自由を守る会として極めて遺憾です。亡くなられた方、ご遺族に心より哀悼の意を表します。



<レガシー>とは、なんであったのか？

過去最多のメダルを獲得した日本選手団、大会に参加し最善を尽くした世界各国の選手、そして全てのアスリートの皆様に感謝と敬意を払います。しかし、「ホストシティ」である都民の命が奪われ、都民に自宅療養を強いて健康被害、苦痛と不安に陥れたことは、ソーシャル・インクルージョンの理念および五輪憲章の意義に反し、「終わりよければすべてよし」で決して片づけてはならず、大会後の「負のレガシー」についても、厳しく問われなければなり

無責任・無策にも程がある！

都議選翌日の無免許当て逃げ事故報道は、日本中を衝撃の渦に巻き込みました。都議会改選後の大仕事は本来であれば、華々しい東京五輪開幕であったはずが、木下都議の辞職勧告決議全会一致採択で始まりました。「狸寝入りではないか」との都民の批判を受けながらも、投票日前日に復活し、堂々とオリパラに臨むという「小池劇場」のシナリオの想定が大きく崩れたというわけです。さらに、国政復帰・総理への野望なども囁かれている中、菅総理が電撃的に自由民主党総裁選への不出馬・静観を表明したこと、官邸への道程の計算も大きく狂ったのではないのでしょうか？ いずれにせよ、小池知事はコロナ禍へ無策のまま、都民・都政不在で政局・政争に明け暮れる、無責任極まりない政治家であったということだけは確かです。都民を医療難民化させ、失わなくてよかった多くの命を救えなかった小池都政最大の失策について、「**起こした本人がしかるべき対処すべき**」という言葉のまま小池知事にお返しするものでございます。



小池知事コロナ対策全国知事会の半分を欠席

陽性者急増傾向が顕著になりつつあった8月9日、新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言を発令中の6都府県知事らが西村康稔経済再生担当相とテレビ会議を開き、感染力の高いデルタ株の流行を受け、人出を抑えるための対策強化を要請されました。全国に感染を蔓延させた重責があるはずの都知事は当然出席するものと考えていましたが、なんと都知事は欠席していたのです。この前日は東京五輪最終日、お着物姿で張り切って五輪旗振り回していたにも関わらず、ちなみに全国知事会「新型コロナウイルス緊急対策本部

会議」は通算22回開かれていますが、都知事はそのうち半分も欠席し、欠席の内5回は知事活動実績もなく、「必要喫緊」公務に当たっていないことも判明しています(上田調べ)。

ご都合主義の「不要不急」に活！

都民には「不要不急の外出」を要求し続けながら、「愛弟子」元都民ファーストの都議の千代田区長選、免停中事故を起こした木下都議の緊急事態宣言中の応援は「必要不可欠」で、全国知事会は「不要不急」であることがお分かりいただけると思います。



若者向けワクチン接種推進事業に10億円!?

猛暑の中、渋谷での予約なしのワクチン接種会場に若者が殺到し、開設初日は午前7時半に受け付け終了。知事が「密でしたね。工夫してほしいですね、現場で。」と部下に責任を転嫁したことも含め、批判が集中しました。

小池都政は若者の行動様式と飲食店が感染拡大の一因との見解を示し、CM 広告も含めたワクチン接種推進事業に10億円もの予算を計上しました。しかしながら、この「殺到事件」をみれば、推進せずとも若者は接種要望があることは火を見るより明らかです。上田はこれまで知事が頻繁に登場する広告に投じた12億円の広告費の費用対効果を知事に求めてきましたが、返答なく、前述の臨時会質問でも答弁から逃げました。

◎高額<知事CM>にSTOP◎

莫大な血税を費やしてきたにもかかわらず、災害級の医療危機に瀕したということは、広告は蔓延防止に寄与しなかったことのエビデンスであるといえます。それでもなお、アプリに2.4億円、PR7.5億円、合計10億円もの投資するのは、天下の愚策リターンといわざるを得ません。小池知事がまたもや TVCM に登場することはないか、上田と共に監視をお願いします。



五輪閉幕で豹変
「コロナは災害」
小池知事
昨年度は12億円突っ込み大コケ

五輪が終わった後、お前「危ない」を前面に押し出して来たというわけか。おかしな動きもある。18日開会の日、都議会で提出された15億6000万円の2021年度補正予算案に、怪しむべき事項が盛り込まれている。この中、「新型コロナウイルスワクチン接種推進事業」が盛り込まれている。昨年度は12億円突っ込み大コケ



五輪中はおとなしかった山は、作ったものの、大コケ。公開から一年以上経ても、再放送が百回というシボコ動画ばかりなのに、動画制作費や広告出稿料などに約12億円の都税がつき込まれた。激りすに7.5億円の血税を投じている。都議会議員の上田吉子氏はこう言う。「知事が頻りに登場する広告に費やした12億円の妥当性について、議会でも問いました。小池知事は「マア、去年の検証ができていないのに、また同じようなことを繰り返すのは許されません。そもそも、都がこれまで作成した広報動画はほとんどともパスしていない。実績がないのに、若年層に強く動画や広告を投じるのは許されません」ムタ金を使う余裕はないはずだ。

▲日刊ゲンダイ 8月16日付 2面上田コメント

うえだれいこ プロフィール

台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大國文科卒。外資系生保等を経て起業も。
家族:義父母、夫、息子と三世同居
活動歴: ◆1999年 江戸川発子育て応援団「江戸川ワークママ」設立
◆2007~2012年 江戸川区議(2期目は史上最多1万2千票でトップ当選)
◆2013年~現在 東京都議3期目
◆2014年~現在 地域政党「自由を守る会」代表
好物:茶碗蒸し、リーフパイ、グリーンアスパラの頭、エビ
ペット:セキセイインコたち



都民にツケを回してはならない！

コロナ対策による財政負担増と税収源が明らかになる中、これらの「博大な」財政負担を将来にツケ回すことなく、都・国・JOC・IOC・関係機関で適正に分担し、速やかに清算していく必要があります。今後も上田は、経済損失・財政負担のみならず、多くの都民に犠牲を強いた「負のレガシー」も重く受け止めるべきということを強く指摘していく所存です。